



令和5年度 サッカーキャンプ 誘致戦略推進事業

実施報告書
(概要版)

沖縄県

令和5年度 サッカーキャンプ 誘致戦略推進事業
実施報告書

目次

1. 概要-誘致活動について
2. 決定状況
3. キャンプ地の情報発信について
4. サッカーキャンプ誘致における経済効果算出について
5. 総括

1. 概要-誘致活動について

沖縄県におけるサッカーキャンプ誘致事業は本年度で14年目を迎えた。

平成22年度、わずか7チームの実施から始まった本事業も、各自治体・宿泊施設および関係団体との連動した受け入れ体制の構築、更には各グラウンドの芝の良質化を目的とした「芝人養成事業」、その後継事業となるキャンプ受け入れグラウンド(市町村)を拡大しキャンプ実施クラブの増加を目的とした「受入市町村促進事業」の効果もあり、平成30年度には実施クラブの数を28まで拡大させ、その後も順調に一定数の誘致を実現させることが出来た。

また近年は来場促進を目的とした「サッカーキャンプガイドブック」の発行や公式ホームページにおける多言語化対応など、情報発信にも力を入れることによりサッカーキャンプを通じて沖縄ブランドの新たな価値向上を図ってきた。

令和2年度及び3年度のキャンプ期間においては世界中で爆発的な感染拡大を見せた新型コロナウイルスの影響により、海外クラブの実施が0になるなど誘致数が減少。併せて2年連続の「無観客開催」となった。

コロナも終息が見えてきた昨年度は約3年ぶりとなる「有観客」でのサッカーキャンプを実施。プロサッカー選手が間近で見られる絶好の機会となり、各キャンプ地、多くの来場客で賑わった。

今年度は誘致クラブ数の増加(29クラブ以上の誘致実現)、海外クラブの再誘致、情報発信の強化による沖縄県内への更なる観光客の増加(誘客)、サッカーキャンプの新たな価値創造を目的とし実施クラブと受入市町村の交流支援の強化を目的に誘致事業に取り組んだ。

最終的に今年度の実施クラブ数はJリーグ19クラブ、WE.リーグ3クラブ、海外クラブ2チーム、大学男子2クラブ、海外大学女子1クラブの計27クラブとなった。

誘致するクラブに関しては、これまで同様に各市町村の意向も踏まえ、これまで例年沖縄でキャンプ実施をしているクラブから優先的にスケジュールを確認し、新規クラブの誘致を目指した。

なお本年度事業開始当初から誘致活動においては効率的、効果的なアプローチを図るべく次のような優先順位を設けた。

1) 前年度（令和4年度）実施クラブ（国内）の確定

19クラブ（Jクラブ16、女子3クラブ）の継続実施の確定

*下記一覧は昨年度の実施実績。

【国内クラブ】 19クラブ（J16クラブ+女子3クラブ）		
FC東京	J1	国頭村
サガン鳥栖	J1	読谷村
ガンバ大阪	J1	中城村
ヴィッセル神戸	J1	西原町
川崎フロンターレ	J1	恩納村
北海道コンサドーレ札幌	J1	金武町
浦和レッズ	J1	金武町
名古屋グランパス	J1	南風原
京都サンガF.C.	J1	八重瀬町
ジェフユナイテッド市原・千葉	J2	南城市
水戸ホーリーホック	J2	豊見城市
大宮アルディージャ	J2	沖縄市
V・ファーレン長崎	J2	読谷村
FC町田ゼルビア	J2	うるま市
ザスパクサツ群馬	J2	八重瀬町またはうるま市
ベガルタ仙台	J2	糸満市
三菱重工浦和レッズレディース	WEリーグ	金武町
大宮アルディージャVENTUS	WEリーグ	八重瀬町または沖縄市
FCふじざくら山梨	なでしこ	南城市

これら上記のクラブに関しては、なでしこリーグのFCふじざくら山梨を除いた18クラブが継続してキャンプ誘致に成功した。

鳥栖と川崎に関しては、例年通りグラウンドは問題なく調整できたものの、宿泊ホテルの改修工事等の関係から新たに宿泊施設確保の調整が必要となった。クラブ側や行政と連携を図りながら、結果的に無事に調整することが出来、それぞれ各キャンプ地での継続実施が実現できた。

またザスパクサツ群馬に関しては八重瀬町での2年目の継続実施、大宮アルディージャVENTUSに関しては新たに中城村で調整を行い、継続での沖縄キャンプ実施が実現した。FCふじざくら山梨に関しては昨年度より早い段階（日程）でのキャンプ実施を希望し、その日程が多くのJクラブと重複していた関係からキャンプ地を確保出来ずに断念した。

2) その他Jクラブ 新規&過去沖縄キャンプ実施クラブの復活誘致

既存クラブの沖縄キャンプ定着化に向け、過去に沖縄キャンプを実施したJクラブ及びWE.リーグクラブへ先行してアプローチし、沖縄での継続実施の意思確認を早い段階で行うことで新規クラブの誘致枠の確保に努めた。

新規クラブの開拓（特にサポーターの誘客を見込んだ那覇空港との直行就航路線の活用が見込まれるクラブ）や、過去に沖縄キャンプを実施したJクラブに対してアプローチ。今年度アプローチを行い、キャンプ実施が見送りとなったクラブは以下の通り。

■サンフレッチェ広島

2011年、2012年にキャンプを実施。昨年度は1次キャンプをトルコで行っており、同時期のキャンプで沖縄を検討。強化部2名及び遠征手配を執り行う旅行代理店1名、計3名が来沖視察。

同じ広島の野球チーム「広島カープ」を受け入れている沖縄市を中心に視察。沖縄市側も非常にウェルカムであったが、最終的には費用面の問題からこれまで2次キャンプを実施していた宮崎県内で1次キャンプから実施すると判断。今年度の沖縄キャンプは見送りとなった。

■いわきFC

新たに沖縄キャンプ実施を検討しているという話を受け、アプローチ。他のクラブとの大きな違いとして「天然芝でなくハイブリッド芝でもいい」との考えもあり、名護市のサッカー・ラグビー場（ハイブリッド面）での実施を提案。

クラブは沖縄と鹿児島を候補に検討し、最終的には費用面の違いから沖縄キャンプを見送り、鹿児島での実施となった。

■SC相模原

2016年に沖縄県南城市でキャンプを実施。近年は静岡で実施しており、近い将来に沖縄キャンプの実施を検討しているとのことで強化部2名が来沖。過去に実施した南城市や読谷村を視察した。

■FC今治

以前から沖縄キャンプには興味を示しており、同じJ3リーグに所属するFC琉球との試合時（来沖時）に強化部が視察を希望し、うるま市や南城市を視察した。航空券や宿泊費用高騰の影響を受け、沖縄キャンプの予算確保が難しいと回答があり、今年度の沖縄キャンプは見送りとなった。

キャンプ実施にあたっては地元の子供達へのサッカー教室など、前述した地域との交流支援が実現出来るよう誘致交渉の段階でクラブ側にリクエストを出していった。結果的に下記のJリーグ3クラブの誘致が実現できた。

【国内クラブ】3クラブ（新規Jリーグ2クラブ+復活1クラブ）		
アルビレックス新潟	J 1	沖縄市
栃木SC	J 2	うるま市、名護市
東京ヴェルディ	J 1	八重瀬町、中城村

新潟と栃木は新規実施。東京ヴェルディに関してはコロナ前以来となる、実に5年ぶりとなる沖縄キャンプ実施となった。詳細についてはそれぞれ「3.各クラブのキャンプ実施状況」にて後述する。

3) 海外クラブ

経済効果への寄与を見据え、希望宿泊期間の長いクラブや、代表選手が在籍しているクラブなど、キャンプ地への観光誘客も見込める海外クラブをターゲットに誘致活動に取り組んだ。

主に交渉を行った海外クラブ（男子）	
全北現代	K1
蔚山現代	K1
広州影豹足球倶楽部	C3

海外クラブの中で主に長い時間をかけて調整を行ったのは上記の3クラブとなり、その中で誘致が実現出来たのは<蔚山現代 HDFC>の1クラブとなった。同クラブについては「3.各クラブのキャンプ実施状況」で後述する。

<全北現代>

6月にチームマネージャーが来沖。八重瀬町や名護市のグラウンドなど1泊2日の日程で県内各キャンプ地の視察を行った。クラブとしては早い段階から動き、TOPチームの外国人監督に提案をしたが、監督はグラウンドではなくホテルに難色を示した。

いわゆる五つ星級のリゾートホテルを希望。事務局が提案した中に同クラスのホテルで全日程確保、3食、全室確保できるホテルは無く、結果チームは沖縄でのキャンプを見送り、ヨーロッパでの実施を選択した。

<広州影豹足球倶楽部>

12月に沖縄側へ打診があり誘致調整を図った。クラブと契約しているエージェン트가来沖し県内各キャンプ地を2日間に渡り視察。

豊見城市及び八重瀬町でのキャンプ受け入れの調整がつき、1月15日に実施した沖縄県サッカーキャンプ記者会見についても実施を公表。

しかしその後、年が明けて就任したクラブの新代表が沖縄行きに反対。理由としては「Jリーグクラブがキャンプを終えた後に行っても練習試合が出来なければ意味がない」とのことだった。（*当初はその条件での実施についても内諾していた）

直前になりキャンセルという形となり、八重瀬町及び豊見城市に事情を説明。予定されていたキャンプは中止となった。

4) 女子クラブ

これまで実施したWEリーグのクラブや、なでしこリーグのクラブを中心に誘致活動を実施し、地元沖縄の女子クラブとのトレーニングマッチ、また沖縄キャンプ初となるWEリーグ同士のトレーニングマッチ実現を目指した。

3年連続で三菱重工浦和レッズレディース、昨年度初めて実施した「大宮アルディージャ VENTUS」の継続誘致に成功。

またアルビレックス新潟レディースの初誘致にも成功し、地元女子クラブとの試合も実現。台湾女子の新北航源FCや韓国女子大学の大徳女子大学など、女子チームとしては過去最高の5クラブがキャンプを実施した。

5) 大学チーム

関東及び関西の大学を中心に誘致活動を実施し、地元の大学チームも加えたカップ戦を開催。1～2月期のトッププロチームの実施が終わった3月ごろに開催することで、グラウンドの確保に伴う大会の実施、宿泊施設への経済効果へも貢献できるよう努めた。

最終的に大会への参加誘致で県外から7チーム、うち大会に付随した形で1チームがキャンプを実施。大会とは関係なくキャンプを実施するのが1チームとなった。

大会に付随した形で（大会前後）でキャンプを実施した大学

大阪体育大学

関西

大会と関係なくキャンプを実施する大学

東京農業大学

関東

以上、今年度も県内の受け入れ市町村や宿泊施設に加え、沖縄県サッカー協会や沖縄県スポーツ協会、海外クラブの窓口となる各仲介人（エージェント）等と情報共有を行いながら誘致活動を展開。

沖縄でのキャンプ実施希望クラブの意見・要望を事前に集約し、そのクラブにあった場所や宿泊施設を事務局で選定。沖縄県・各市町村担当部署・宿泊施設と連携を図り事前視察の対応等を行った。必要に応じてクリーニング業者やバス会社なども紹介、調整を行った。

また誘致の大きなキーポイントとして「地元との交流支援」の実現性のあるクラブの誘致を重視し、誘致数だけではない沖縄サッカーキャンプの新たな付加価値創造を狙った。

2. 決定状況

令和5年度 沖縄サッカーキャンプ 実施一覧

1. F C 東京 (J1)

2024年1月19日～1月28日 (10日間)

場所：かいぎんフィールド国頭

2024年1月29日～1月30日 (2日間)

場所：糸満市西崎陸上競技場

2. 川崎フロンターレ (J1)

2024年1月16日～1月31日 (16日間)

場所：赤間総合運動公園サッカー場

3. アルビレックス新潟 (J1)

2024年1月15日～1月31日 (17日間)

場所：タピック県総ひやごんスタジアム

4. 浦和レッズ (J1)

2024年1月17日～2月6日 (21日間)

場所：金武町フットボールセンター

5. 北海道コンサドーレ札幌 (J1)

2024年1月15日～2月10日 (26日間)

場所：金武町陸上競技場

6. サガン鳥栖 (J1)

2024年1月25日～2月11日 (18日間)

場所：ZANPA プレミアム残波岬ボールパーク

7. ガンバ大阪 (J1)

2024年1月18日～1月31日 (14日間)

場所：吉の浦公園ごさまる陸上競技場

8. 京都サンガ F.C. (J1)

2024年1月23日～2月4日 (13日間)

場所：東風平運動公園サッカー場

9. ヴィッセル神戸 (J1)

2024年1月19日～2月1日 (14日間)

場所：西原町民陸上競技場

10. 名古屋グランパス (J1)

2024年1月15日～1月25日、1月28日～2月6日 (21日間)

場所：黄金森公園陸上競技場

11. FC町田ゼルビア (J1)

2024年1月19日～1月24日 (6日間)

場所：21世紀の森公園サッカー・ラグビー場

2024年1月25日～2月1日 (8日間)

場所：うるま市具志川多種目球技場

12. 東京ヴェルディ (J1)

2024年1月19日～1月31日 (13日間)

場所：八重瀬町スポーツ観光交流施設

2024年2月1日～2月8日 (8日間)

場所：吉の浦公園ごさまる陸上競技場

13. V・ファーレン長崎 (J2)

2024年1月29日～2月10日 (13日間)

場所：読谷村陸上競技場

1 4. 栃木 SC (J2)

2024 年 1 月 29 日～1 月 31 日、2 月 4 日～2 月 10 日 (10 日間)

場所：21 世紀の森公園サッカー・ラグビー場

2024 年 2 月 1 日～2 月 3 日 (3 日間)

場所：うるま市具志川多種目球技場

1 5. ザスパ群馬 (J2)

2024 年 2 月 4 日～2 月 11 日 (8 日間)

場所：東風平運動公園サッカー場

1 6. ジェフユナイテッド市原・千葉 (J2)

2024 年 1 月 22 日～2 月 4 日 (14 日間)

場所：南城市陸上競技場

1 7. 水戸ホーリーホック (J2)

2024 年 1 月 25 日～2 月 4 日 (11 日間)

場所：豊見城総合運動公園陸上競技場

1 8. ベガルタ仙台 (J2)

2024 年 1 月 15 日～1 月 28 日 (14 日間)

場所：糸満市西崎陸上競技場

1 9. 大宮アルディージャ (J3)

2024 年 2 月 1 日～2 月 10 日 (10 日間)

場所：タピック県総ひやごんスタジアム

2 0. 蔚山 HDFC (K1<韓国>)

2024 年 1 月 12 日～1 月 21 日 (10 日間)

場所：サッカーパークあかんま

2 1. 三菱重工浦和レッズレディース (WE.リーグ)

2024年2月13日～2月18日 (6日間)

場所：金武町フットボールセンター

2 2. 大宮アルディージャ VENTUS (WE.リーグ)

2024年2月12日～2月17日 (6日間)

場所：吉の浦公園ごさまる陸上競技場

2 3. アルビレックス新潟レディース (WE.リーグ)

2024年2月7日～2月19日 (13日間)

場所：南城市陸上競技場

2 4. 新北航源 FC (台湾女子)

2024年2月23日～2月26日 (4日間)

場所：サッカーパークあかんま、石垣運動公園陸上競技場

2 5. 東京農業大学

2024年2月28日～3月4日 (6日間)

場所：金武町陸上競技場

2 6. 大阪体育大学

2024年3月3日～3月8日 (6日間)

場所：うるま市具志川多種目球技場 ほか

2 7. 大徳女子大学 (韓国女子)

2024年2月19日～2月26日 (8日間)

場所：金武町陸上競技場

3. キャンプ地の情報発信について

(1) サッカーキャンプ ガイドブックの作成

県内への誘客を目的とした「沖縄サッカーキャンプガイドブック」。

今年度は昨年度の50,000部から70,000部へと印刷部数を増加し、県内各所へ配布を実施。例年通り、県内外からの問い合わせも多く、サッカーキャンプHPからもガイドブックデータをダウンロード出来るよう行った。

制作の過程では各自治体や実施クラブ側にも協力いただき、観光スポットや実施クラブの見どころなど、充実した内容のガイドブックが完成した。

発行部数 70,000部

<ガイドブック>



(2) サッカーキャンプ公式 WEB サイトでの情報発信

今年度もサッカーキャンプ公式 W E B サイトを通し、日々のキャンプ情報を更新していった。ガイドブックのダウンロードや市内の観光情報を更新。また歓迎セレモニーの様子など、動画配信も実施した。



LATEST NEWS

- 2024年02月10日
鳥栖・札幌 トレーニングマッチ結果(2月10日)
- 2024年02月07日
栃木・琉球 トレーニングマッチ結果(2月7日実施)
- 2024年02月06日
名古屋・札幌 トレーニングマッチ結果(2月6日実施)
- 2024年02月03日
名古屋・東京V トレーニングマッチ結果(2月3日実施)
- 2024年02月02日
名古屋・浦和 トレーニングマッチ結果(2月2日実施)

SPECIAL MOVIE

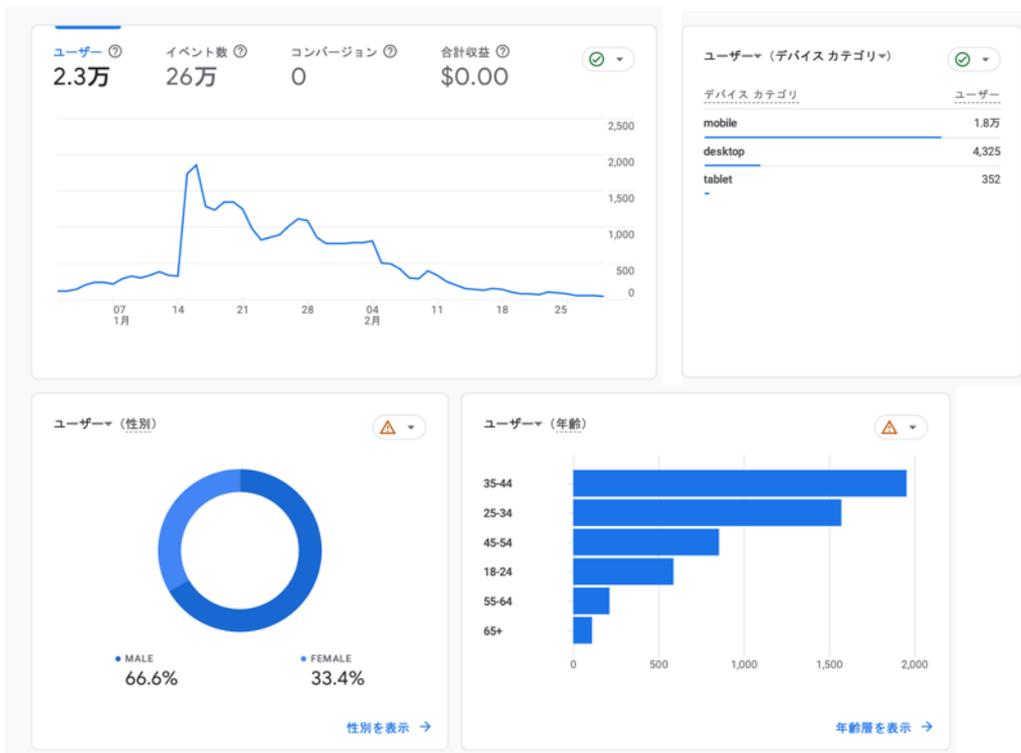


[動画一覧はこちら](#)



■公式サイト 閲覧状況について

公式サイトの閲覧状況について2023年1月1日から2月29日までの統計を検証した結果、22,951名が閲覧。前年度の17,635名から5,316名増となっている。その中でもスマートフォンなどモバイルからのアクセスが約18,000名と大きく占めており、スマートフォンからのアクセス時の公式サイトの見やすさやSNSにより力を入れていく必要がある。性別で分けると男性66.6%、女性が33.4%となっており35～44歳までの世代が大きな割合を占めている。



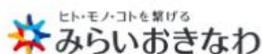
アクセスページ、また平均エンゲージメント時間が1分13秒という点からも、直近の練習試合情報およびお気に入りチームの情報などを確認した後にサイトから離れていることが推測出来る。これはサイトから市町村観光情報を確認するユーザーは少ないのではないかと捉えられることも出来るため、次年度以降のサイトは練習試合情報をより目立つように入れ込みつつ、市町村の観光情報の紹介ページは見直しが求められる。

ページタイトルとスクリーンクラス	表示回数	ユーザー数	ユーザーあたりのビュー	平均エンゲージメント時間	イベント数 (すべてのイベント)	コンバージョン (すべてのイベント)	合計収益
	105,692 全体の100%	22,951 全体の100%	4.61 平均との差0%	1分13秒 平均との差0%	263,559 全体の100%	0.00	\$0.00
1 サッカーキャンプを冲縄で。冲縄サッカーキャンプ	51,858	19,909	2.60	46秒	147,567	0.00	\$0.00
2 NEWS サッカーキャンプを冲縄で。冲縄サッカーキャンプ	4,464	1,462	3.05	37秒	11,761	0.00	\$0.00
3 SCHEDULE サッカーキャンプを冲縄で。冲縄サッカーキャンプ	4,287	2,336	1.84	1分05秒	8,780	0.00	\$0.00
4 チーム サッカーキャンプを冲縄で。冲縄サッカーキャンプ	3,876	1,787	2.17	51秒	7,364	0.00	\$0.00
5 名古屋 トレーニングマッチのお知らせ (1月24日～2月6日予定) サッカーキャンプを冲縄で。冲縄サッカーキャンプ	2,297	1,122	2.05	38秒	4,502	0.00	\$0.00
6 NEWS サッカーキャンプを冲縄で。冲縄サッカーキャンプ - Part 2	1,671	560	2.98	36秒	4,373	0.00	\$0.00
7 川崎・札幌 トレーニングマッチのお知らせ (1月24日予定) サッカーキャンプを冲縄で。冲縄サッカーキャンプ	1,394	798	1.75	17秒	2,737	0.00	\$0.00
8 マップ サッカーキャンプを冲縄で。冲縄サッカーキャンプ	1,262	753	1.68	47秒	2,912	0.00	\$0.00
9 町田 トレーニングマッチのお知らせ (1月24日～28日予定) サッカーキャンプを冲縄で。冲縄サッカーキャンプ	1,154	738	1.56	28秒	2,262	0.00	\$0.00
10 川崎・町田・琉球 トレーニングマッチのお知らせ (1月31日予定) サッカーキャンプを冲縄で。冲縄サッカーキャンプ	1,109	705	1.57	21秒	2,159	0.00	\$0.00

(3) 記者会見の実施

1月のサッカーキャンプのシーズン開始に合わせて記者発表を実施し、キャンプ実施クラブチームの公表や経済効果、今年度キャンプのトピックスや見どころなどを紹介する。紹介した情報がメディアを通じて広く露出・PRされることで、沖縄県内はもとより、県外でのサッカーキャンプ盛り上げの機運醸成を図る。

さらには、プロ野球キャンプに比べて、まだまだ県民への浸透が不足しているサッカーキャンプを知るきっかけとすることで、県民のサッカーキャンプ実施への認知やサッカーキャンプ観戦の意欲を高める。



開催日 : 2024年1月15日 (月)
開催時間 : 14:00~
会場 : OKINAWA INNOVATION
LAB (株)みらいおきなわ
住所 : 沖縄県 那覇市久茂地 3-10-1
実施内容 : 記者発表、フォトセッション
取材メディア: 新聞2紙(沖縄タイムス、琉球
新報)
テレビ局4局(NHK、RBC、
QAB、OTV)
ラジオ2局(ROK、RBC)
OKITIV(WEB)



(4) PR ブースの設置

【実施期間】2024年1月15日～1月31日

【会場】イオンモール沖縄ライカム館内合計6ヶ所

観光客および沖縄県民への沖縄サッカーキャンプの存在自体の周知浸透を目指して、県内外から広く買い物に集まる大型ショッピングモールにて、約15日間のサッカーキャンプをテーマにした展示を館内計6ヶ所を実施した。展示ではキャンプを実施するクラブのユニフォーム展示と同時に、沖縄サッカーキャンプの実施概要、やキャンプを実施するクラブ情報や受け入れ自治体情報をパネルにまとめて施設内5ヶ所に掲出した。

また、設置居場所への回遊と誘導を図るためパネル設置個所にてスタンプラリーを同時開催。



(5) PRイベントの実施

【実施日時】2024年1月21日(日)13:00～17:00

【会場】イオンモール沖縄ライカム1F グランドスクエア

ショッピングモールへ買い物に訪れたサッカーに興味のないお客様にも広く「プロチームがキャンプを沖縄でやっている」という、サッカーキャンプの存在を認知してもらうステージイベントを実施。ステージの内容も、サッカーに興味はない人でも広く楽しんでいただける構成とし、少しでもサッカーキャンプに関心を持ってもらい、キャンプへ実際に足を運んでもらうことや観覧者のSNS等での情報拡散など二次的な広がりも狙い実施。

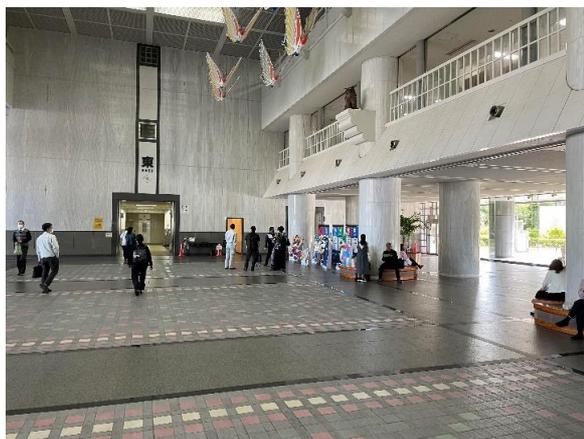
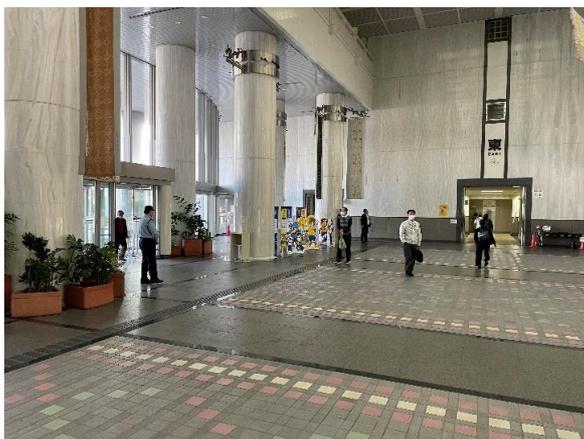


(6) 沖縄県庁でのユニフォームパネル展示

【実施期間】2024年2月1日～2月7日

【場所】沖縄県庁1Fロビー

イオンモール沖縄ライカムにて実施をしたユニフォーム・キャンプ概要展示、サッカーキャンプ実施クラブと受入自治体紹介、クラブ等身大マスコットパネル展示を沖縄県庁1Fロビーにて実施。



(7) 市町村情報番組の制作

昨年度に引き続き自治体から希望のあった情報番組の制作を行った。

今年度は国頭村、沖縄市、豊見城市、新しくサッカーキャンプの受け入れを行う名護市の紹介番組を制作し、県内外で放映。

また映像素材は各自治体へ2次使用の権利を与え、番組放映後はそれぞれのSNSなど発信媒体でも活用してもらうこととした。(下記民法放送局一覧)

系列	テレビ局		1枠目OA枠 【沖縄市 豊見城市 篇】	2枠目OA枠 【名護市 国頭村 篇】
CX	MIT	岩手めんこいテレビ	1/18 (木) 15:15-15:45	1/25 (木) 15:15-15:45
CX	AKT	秋田テレビ	1/19 (金) 25:30-26:00	1/26 (金) 26:00-26:30
CX	FTV	福島テレビ	1/23 (火) 25:25-25:55	1/30 (火) 25:25-25:55
CX	FTB	福井テレビ	1/10(水) 10:20-10:50	
CX	BBT	富山テレビ		1/10 (水) 26:30-27:00
CX	TSK	山陰中央テレビ	1/24(水) 25:25-25:55	
CX	TKU	テレビ熊本	1/14 (日) 25:35-26:05	
CX	KTS	鹿児島テレビ	12/30 (土) 6:00-6:30	
N	RNB	南海放送	12/26(火) 27:05-27:35	12/27(水) 27:05-27:35
N	KNB	北日本放送	12/24(日) 25:55-26:25	
J	HBC	北海道放送	1/3 (水) 25:25-25:55	
J	ATV	青森テレビ	12/20 (水) 25:55-26:24	12/24 (日) 25:50-26:19
J	TUY	テレビユー山形	12/23(土) 25:58-26:28	
J	BSN	新潟放送	12/21 (木) 25:30-26:00	1/17 (水) 26:30-27:00
J	SBS	静岡放送	12/10(日) 25:50 - 26:20	12/17(日) 25:50 - 26:20
J	SBC	信越放送	1/15(月) 25:30-26:00	1/22(月) 25:30-26:00
J	RSK	山陽放送	12/25(月) 25:10-25:40	
J	RCC	中国放送	12/20(水) 26:25-26:55	12/28(木) 25:53-26:23
J	tys	テレビ山口	12/29 (金) 26:30-27:00	1/27(土) 26:30-27:00
J	OBS	大分放送	12/27(水) 26:40-27:10	1/4(木) 23:56-24:26
J	NBC	長崎放送	1/5(金) 26:29-26:59	1/19(金) 26:14-26:44
J	MRT	宮崎放送	12/10(日) 24:50-25:20	1/7(日) 24:50-25:20
J	RBC	琉球放送	1/26 (金) 26:28-26:58	

4. サッカーキャンプ誘致における経済効果算出について

令和5年度サッカーキャンプの経済波及効果（速報値）

（沖縄サッカーキャンプ 2024）

2024年1月から3月の間に沖縄県内で実施されたサッカーキャンプの経済効果を試算した。県のサッカーキャンプ誘致事業による経済効果は、クラブチームによる各種支出とキャンプ見学の観光客による消費支出を区分して設定した。選手及びスタッフは27チーム1,333人で、平均宿泊日数は12.9日となった。

サッカーチーム誘致関連支出額

	支出額(円)
球団経費	430,500,000
その他消費	90,374,027
施設関連経費	103,541,551
その他消費 各選手・スタッフによる消費	12,475,648
合計	636,891,226

観光客による需要増加額

	支出額(円)
宿泊費	235,008,226
交通費	79,361,370
土産・買物費	103,113,370
飲食費	122,975,980
娯楽・入場費	65,798,978
その他	14,399,650
合計	620,657,574

※施設関連経費には市町村による施設整備費を含む

直接効果はサッカーチーム誘致に伴う宿泊費及び運営費、受入自治体事業費、施設整備等球場関連支出が約6億3689万円、キャンプを見学を訪れた県外観光客による支出は6億2065万円となり、合わせて約12億5755万円が直接効果になると試算される。

以上の直接効果により、経済波及効果は以下の通りとなった。キャンプ効果が10億9199万円、観光効果が10億8730万円となり、総効果は21億7930万円と試算される。

単位:円

	キャンプ効果	観光効果	効果の合計:A	2023年効果:B	A/B
直接効果	636,891,226	620,657,574	1,257,548,800	1,191,144,603	105.6
付加価値額	134,236,783	132,253,618	266,490,401	226,552,907	117.6
雇用者所得	64,320,525	63,539,614	127,860,140	120,382,981	106.2
域内需要増加額	288,018,721	288,844,560	576,863,281	546,662,585	105.5
1次効果	379,880,917	381,945,487	761,826,404	719,924,540	105.8
2次効果	75,222,653	84,702,533	159,925,186	166,229,435	96.2
総効果	1,091,994,797	1,087,305,594	2,179,300,390	2,077,298,578	104.9

2024年では海外クラブの滞在は3件であったが、今後はアジア圏を中心に日本のクラブチームなどとのテストマッチの提案などにより、キャンプメニューの充実を図れば増加にむかうことが期待される。

5. 総括

今年度のサッカーキャンプは29チーム以上の誘致、そして積極的な情報発信及び「受け入れ市町村と実施クラブとの交流支援の強化」を目的に事業に取り組んだ。

結果として、キャンプ実施予定クラブの直前キャンセル等により、目標値である29チーム以上の誘致は実現できなかったが、昨年度の24チームを上回る27チームが沖縄でキャンプを実施していただいた。なかでも、那覇空港発着の就航路線を活用した新規クラブ（アルビデックス新潟及びアルビレックス新潟レディース）の誘致が実現出来たことや、新たに名護市21世紀の森公園サッカー・ラグビー場及び八重瀬町スポーツ観光交流施設でサッカーキャンプ受入れができたことは大きな成果であった。また、約4年ぶりに海外クラブの誘致が実現きたことや過去2年間誘致出来ていなかった石垣市にキャンプ誘致が再開できたことで、賑わいのあるキャンプシーズンとなった。

そして、キャンプ実施クラブとキャンプ受入市町村の交流支援にも力を入れて取り組んだ。なかでも、沖縄県と恩納村が連携・協力して川崎フロンターレのホームゲームでサッカーキャンプのPRブースを共同出展できたことは今後の展開に繋がるいい事例であった。夏休みのナイターゲーム、さらには人気の対戦カードということもあり、来場した多数の観客に沖縄サッカーキャンプ及び恩納村の観光PR等ができた。当該事例の他、各クラブとの地域交流は、受入市町村意見交換会において情報共有を行ったことから、他市町村でも今後類似の取り組みが広がることが期待される。また、今年度は初めての試みとして、プロ野球キャンプ受入市町村とサッカーキャンプ受入市町村の合同意見交換会を実施した。プロ野球キャンプ及びサッカーキャンプ双方の経済波及効果や地域交流事例等の情報共有をとおし、「いかに賑わいを野球に近づけつつ、サッカーならではの地域交流を深められるか」といった課題を考えるきっかけづくりができた。

このような取り組みは、2026シーズンから始まる秋春制シーズン移行に関連して今後さらに重要になってくる。シーズン移行により、例年1～2月に行っているキャンプは冬季中断期間（ウィンターブレイク）中、つまりシーズン途中の実施となる。シーズン中のキャンプということになると、現在のように約20クラブ規模のJクラブのキャンプが実施できるかは不透明である。

そのため、現段階からクラブと受入市町村の地域交流をとおして関係強化を図り、シーズン移行後も引き続き沖縄をキャンプ地として選んでもらえるような基盤づくりが重要である。理想はキャンプ実施クラブにとって各自治体が単なるキャンプ地ではなく、「第2のホームタウン」となることである。それを実現するためにも、沖縄サッカーキャンプに関わる全ての方々の協力・連携を強化し、スポーツツーリズムを通じた観光促進とクラブの充実したキャンプ実施を通して、「沖縄サッカーキャンプ」をさらに拡大・発展させることが必要である。

今年度もキャンプ受け入れに尽力していただいた全ての関係者及び沖縄サッカーキャンプの円滑な実施の為に協力していただいた各クラブの皆さまに感謝したい。

令和5年度 サッカーキャンプ誘致戦略推進事業
実施報告書（概要版）

発注者：沖縄県文化観光スポーツ部 スポーツ振興課
〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎 1-2-2

受託業者：サッカーキャンプ誘致戦略推進事業共同企業体

代表法人：沖縄S V株式会社
〒901-0225 沖縄県豊見城市豊崎 3-59 トヨプラ 311号

株式会社沖縄ウィメンズスポーツクラブ
〒901-2132 沖縄県浦添市伊祖 4-6-7-201

株式会社アドスタッフ博報堂
〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地 3-17-5 美栄橋ビル



 株式会社 アドスタッフ博報堂

令和6年3月発行

